



地震、台風などで停電した時、 家庭の対応は大丈夫？



最初にやること

①停電の範囲を確認

- ・自宅の他、近所も停電している

②通電火災注1)の回避

- ・コンセントから電源プラグを抜く
 - ・避難時はブレーカーを落とす
 - ・再通電時には安全確認注2)を行う
- 注1) 電力復旧時に発生する火災
注2) 配線やコードの損傷、漏水等による電化製品の破損 など

* 阪神・淡路、東日本大震災の出火原因の約6割以上が電気に起因

停電中に気をつけること

①冷蔵庫の使い方を工夫

- ・冷蔵庫のドアを開けない
(約6時間は保存可)
- ・解凍された食品は早めに食べるか捨てる

②ろうそくの使用を控える

- ・火災の原因

③室内で発電機を使用しない

- ・一酸化炭素中毒の恐れ

事前にできる停電対策

①電力の確保

- ・発電機 (新町で5台保有)
5ヶ所の一時避難場所の防災倉庫に各1台
- ・ポータブル電源
持ち運び可能な蓄電池
家庭に1台あれば便利

マンホール蓋

< 発電機 >



* カセットボンベ2本
で約1時間運転可能

< ポータブル電源(例) >



* スマートフォンや
小型家電にも対応

②感震ブレーカーの設置

- ・地震の揺れを感知して自動的に電気の供給を遮断

マンホール蓋

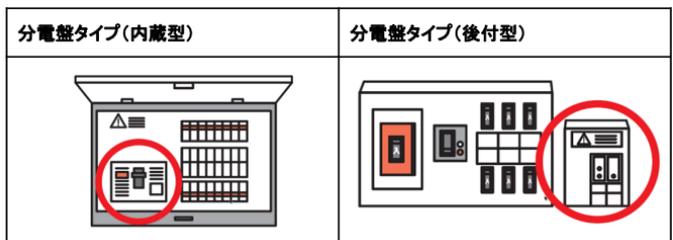
③継続的に情報を得る物品の確保

- ・手回しタイプの充電式ラジオ など

④現金 (特に硬貨は多め) の用意

- ・キャッシュレス決済不可の恐れ

< 分電盤タイプの感震ブレーカー >



* 分電盤タイプの感震ブレーカーを設置した場合、刈谷市から購入・設置費の2分の1の補助金 (上限2万円) が出る

我が家の防災

今更ですが 防災の基本をチェックします

我が家

あなたは？

1. 一時避難場所が分かっている ⇒ 狩野公園

2. 避難所が分かっている ⇒ 平成小学校

狩野公園



平成小学校



3. 一時避難場所と避難所への経路が分かっている

4. 防災グッズの準備はしてある



5. 防災用飲料水・食品（5日分）は用意してある

6. 毛布、スリッパを準備している

7. 懐中電灯、乾電池を準備している

8. ペットの避難先を決めてある

* 家族構成、状況によりチェック項目を追加